

【出演者プロフィール】

パネルディスカッション

テーマ 「世界とつながる佐渡の未来・持続可能で元気な島
～経済・社会・環境の三方良しを実現する具体的な方策を探る～」



コーディネーター

東京大学未来ビジョン研究センター 副センター長・教授
佐渡市総合戦略アドバイザー

ふくし けんすけ
福士 謙介 氏

東北大学土木工学科卒業。米国ユタ大学博士課程を経て東北大学助手、アジア工科大学助教授、東京大学助教授を経て2013年より現職。環境工学を専門とするが、日本におけるサステナビリティ学の創設に貢献。2013年より佐渡島における研究を始める。2021年9月から佐渡市総合戦略アドバイザー。

パネリスト 特別講演から引き続き参加



(一財) 持続性推進機構 理事長
元環境事務次官
佐渡市総合戦略アドバイザー

もりもと ひでか
森本 英香 氏



東京農業大学特命教授
前農林水産事務次官
佐渡市総合戦略アドバイザー

すえまつ ひろゆき
末松 広行 氏



三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)
プリンシパル・サステナビリティ・
ストラテジスト

よしただか
吉高 まり 氏 ※オンライン参加



パネリスト

公益財団法人 地球環境戦略研究機関 所長

たかはし やすお
高橋 康夫 氏

東京大学工学系大学院修了(都市工学専攻)。2019年まで36年間環境省に勤務し、地球温暖化対策課長、福島環境再生本部長、水・大気環境局長、地球環境審議官等を歴任。その間、1994年～1996年には新潟県庁に出向。2020年より現職。佐渡ロングライドに6回出場。



パネリスト

佐渡市長

わたなべ りゅうご
渡辺 竜五 氏

2019年まで佐渡市役所職員として奉職し、2008年に佐渡米の再起を図り「朱鷺と暮らす郷づくり認証制度」を確立させ、2011年には日本で初となる世界農業遺産(GIAHS)認定に貢献。農林水産課長、総務課長、総合政策課長等を歴任。2020年より現職。

佐渡 GIAHS 認定10周年記念連携事業 (地域循環共生圏プラットフォーム事業)

ローカルSDGs シンポジウム

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

佐渡島SDGs

地域循環共生圏の実現に向けて ～歴史と文化が薫り 人と自然が共生できる持続可能な島～

第2回 佐渡未来講座



令和3年

【日時】 11月21日 9:00～12:30 (8:30開場)

【会場】 佐渡中央文化会館 (アミューズメント佐渡) 大ホール

主催: 佐渡市

協力: (公財) 地球環境戦略研究機関

【開催趣旨】

近年複雑化する経済・社会・環境などの諸課題の解決に向け、国連にて全会一致で採択された持続可能な開発目標（SDGs）は「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指すこととされております。このような目標に基づき、我が国では平成30年4月に閣議決定された第五次環境基本計画において、自然環境など地域資源を最大限活用しながら自立・分散型社会を形成すると同時に、各地域の特性に応じて補完し支え合う「地域循環共生圏」が提唱されています。

社会・環境等に適応しながら形成された農業や生物多様性の確保、またそれらとともに育まれてきた文化・景観を継承することを目的とした世界農業遺産（GIAHS）の認定から10年目を迎えた佐渡市では、「歴史と文化が薫り 人と自然が共生できる持続可能な島」を基本理念に掲げ、この地域循環共生圏を目指したまちづくりに取り組むべく、多くの市民や関係者が参画し、今年度（令和3年度）に市の理念・将来像を反映した最上位計画となる「佐渡市総合計画」を策定する予定です。

本シンポジウムは、世界の最新の動向を踏まえながら、佐渡市総合戦略アドバイザーや学識者・専門家から貴重なご講演を賜りつつ、ローカルSDGsとも言われる「地域循環共生圏」の具現化方法等についてもご討議いただき、佐渡島SDGs・地域循環共生圏づくりや実践の啓発・理解醸成の場として、また、佐渡の未来づくりを全島で考える「佐渡未来講座」として開催するものです。

【プログラム及び出演者】

9:00	① 開会挨拶 渡辺 竜五（佐渡市長）
9:05	② 映像上映 「トキと人が共に生きる持続可能な社会を目指す、佐渡島SDGsへの挑戦」
9:10	③ 基調講演 「地域循環共生圏の創造 — 佐渡を舞台にして—」 武内 和彦 氏（公益財団法人 地球環境戦略研究機関 理事長）
9:45	④ 特別講演 i) 「コロナ後の脱炭素・グリーン社会と自然との共生」 森本 英香 氏（一般財団法人 持続性推進機構 理事長、元環境事務次官、佐渡市総合戦略アドバイザー）
10:10	ii) 「SDGs時代のみどりの食料システム戦略」 末松 広行 氏（東京農業大学特命教授、前農林水産事務次官、佐渡市総合戦略アドバイザー）
10:35	iii) 「本気で取り組むSDGs ～ビジネスが変わる 未来を変える～」 吉高 まり 氏（三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 プリンシパル・サステナビリティ・ストラテジスト）※オンライン参加
～ 休 憩（15分）～	
11:10	⑤ パネルディスカッション テーマ 「世界とつながる佐渡の未来・持続可能で元気な島 ～経済・社会・環境の三方良しを実現する具体的な方策を探る～」 参加者 コーディネーター 福士 謙介 氏（東京大学未来ビジョン研究センター 副センター長・教授、佐渡市総合戦略アドバイザー） パネリスト 森本 英香 氏 末松 広行 氏 吉高 まり 氏 ※オンライン参加予定 高橋 康夫 氏（公益財団法人 地球環境戦略研究機関 所長） 渡辺 竜五
12:10	⑥ ローカルSDGs佐渡島宣言
12:15	⑦ 記念写真
12:25	⑧ 閉会挨拶 小林 祐玄（佐渡市総合計画審議会会長）

*プログラムの内容に一部変更がある場合があります。

*国等の新型コロナウイルス感染症対策の基本的な対処方針等に基づき、感染リスクを軽減し、安全確保に努めて開催します。

【出演者プロフィール】

基調講演



「地域循環共生圏の創造 — 佐渡を舞台にして—」

講師 公益財団法人 地球環境戦略研究機関 理事長

たけうち かずひこ
武内 和彦 氏

農学博士。東京大学未来ビジョン研究センター特任教授などを兼任。専門は自然環境学、サステナビリティ学。前中央環境審議会会長として第五次環境基本計画を主導し、SDGsをローカル化するための「地域循環共生圏」の概念と手法をとりまとめる。

特別講演



「コロナ後の脱炭素・グリーン社会と自然との共生」

講師 一般財団法人 持続性推進機構 理事長、元環境事務次官
佐渡市総合戦略アドバイザー

もりもと ひでか
森本 英香 氏

法学士・政治学士。早稲田大学法学部教授など兼任。専門は環境法や環境政策論。環境省や原子力規制委員会の設立、福島復興・再生、水俣病・アスベスト被害対策、海洋プラスチック等循環資源対策等に携わる。『里地からの変革』（共著1995年）。2021年9月から佐渡市総合戦略アドバイザー。



「SDGs時代のみどりの食料システム戦略」

講師 東京農業大学特命教授、前農林水産事務次官
佐渡市総合戦略アドバイザー

すえまつ ひろゆき
末松 広行 氏

経営学博士。林野庁林政部長、農村振興局長、経済産業省産業技術環境局長等を歴任。バイオマス・ニッポン総合戦略策定に参画し、農山漁村の地域資源（土地、産品、人材、風光）を活用した地域経済発展が行動テーマ。2021年9月から佐渡市総合戦略アドバイザー。



「本気で取り組むSDGs ～ビジネスが変わる 未来を変える～」 ※オンライン参加

講師 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
プリンシパル・サステナビリティ・ストラテジスト

よしたか
吉高 まり 氏

ミシガン大学環境・サステナビリティ大学院（現）科学修士。ESG投資、SDGsビジネス、気候変動、サステナブルファイナンス領域で多様なセクターに対しアドバイス等を提供。大学講師、国の各種審議会委員にも従事。